

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 8 月 31 日 (2017.8.31)

【公開番号】特開 2015-78352 (P2015-78352A)

【公開日】平成 27 年 4 月 23 日 (2015.4.23)

【年通号数】公開・登録公報 2015-027

【出願番号】特願 2014-185692 (P2014-185692)

【国際特許分類】

C 0 8 J 3/12 (2006.01)

G 0 3 G 9/087 (2006.01)

C 0 8 F 2/44 (2006.01)

C 0 8 F 283/00 (2006.01)

C 0 8 F 2/18 (2006.01)

C 0 8 F 291/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 J 3/12 Z

G 0 3 G 9/08 3 2 1

G 0 3 G 9/08 3 2 5

G 0 3 G 9/08 3 8 4

G 0 3 G 9/08 3 3 1

C 0 8 F 2/44 C

C 0 8 F 283/00

C 0 8 F 2/18

C 0 8 F 291/00

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 7 月 24 日 (2017.7.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

結晶性樹脂 (A) と非結晶性樹脂 (B) を含有する樹脂粒子 (I) であって、結晶性樹脂 (A) が下記〔条件 1〕～〔条件 5〕を満たし、非結晶性樹脂 (B) が下記〔条件 6〕～〔条件 7〕を満たす樹脂粒子。

〔条件 1〕 融解熱の最大ピーク温度 (T a A) : 40 ~ 100

〔条件 2〕 軟化温度と T a A の比 (軟化温度 / T a A) : 0.8 ~ 1.2

〔条件 3〕  $G' (T a A + 20) = 1 \times 10^2 \sim 5 \times 10^5$  [Pa]

[  $G' (T a A + 20) : (T a A + 20)$  における貯蔵弾性率 ]

〔条件 4〕  $G'' (T a A + 20) = 1 \times 10^2 \sim 5 \times 10^5$  [Pa]

[  $G'' (T a A + 20) : (T a A + 20)$  における損失弾性率 ]

〔条件 5〕 (T a A ± 20) の温度範囲内に

$\text{Log } G'' (X + 20) - \text{Log } G'' (X) > 2.5$  となる溶融開始温度 X が存在する。

[  $G'' (X + 20) : (X + 20)$  における損失弾性率、 $G'' (X) : X$

における損失弾性率 ]

〔条件 6〕 融解熱の最大ピーク温度 (T a B) : 35 ~ 100

〔条件 7〕 芳香族含有率：25～70 重量%

【請求項 2】

結晶性樹脂（A）の芳香族含有率と非結晶性樹脂（B）の芳香族含有率との差（芳香族含有率差）の絶対値が 40～65 重量%である請求項 1 記載の樹脂粒子。

【請求項 3】

結晶性樹脂（A）と非結晶性樹脂（B）の比率（重量比率（A）/（B））が 0.05 以上 9.0 未満である請求項 1 又は 2 記載の樹脂粒子。

【請求項 4】

結晶性樹脂（A）が、ポリエステル樹脂、ポリウレタン樹脂、ポリウレア樹脂、ポリアミド樹脂、ポリエーテル樹脂、アクリル樹脂及びそれらの複合樹脂からなる群から選ばれる 1 種以上である請求項 1～3 のいずれか記載の樹脂粒子。

【請求項 5】

結晶性樹脂（A）が結晶性部（b）と非結晶性部（c）とで構成されるブロック樹脂であり、（b）の重量平均分子量が 2000～80000 であり、（A）中の（b）の割合が 50 重量%以上である請求項 1～4 のいずれか記載の樹脂粒子。

【請求項 6】

結晶性部（b）が、ポリエステル樹脂、ポリウレタン樹脂、ポリウレア樹脂、ポリアミド樹脂、ポリエーテル樹脂及びそれらの複合樹脂からなる群から選ばれる 1 種以上である請求項 5 記載の樹脂粒子。